

一人は万人のために 万人は一人のために

たから

宝塚医療生協
平和こそたから・健康こそたから・組合員の声がたから

No.232 2017年3・4月

組合員数 13,618人
出資金 311,291千円
組合員1人平均 22,859円
(2017年1月31日現在)

発行 宝塚医療生活協同組合
宝塚市御所の前町15-21
TEL 0797-69-6121 FAX 0797-69-6223

URL <http://www.takarazuka-mcoop.net/>
E-mail iseikyo@takarazuka-mcoop.net



デイサービス ひだまり 新しくなりました



やったい



たのし



おこやが



ソファでゆったり



広いデイルームでは演奏会に体操など、
楽しい催しがたくさん

おまたせ
しました

- 良元診療所
- 通所リハビリ
- 高松診療所
- ケアサポート
- 訪問看護ステーションひだまり
- ヘルパーステーションひだまり
- デイサービスひだまり
- 組合員センターさがん
- デイサービスあったかハウス今津
- ケアサポート今津
- あったか庵(組合員センター)
- 良元センター「CoCoLo」

大成町10-45	☎0797-71-7288
大成町10-45	☎0797-71-8540
高松町5-10	☎0797-72-2585
高松町5-10	☎0797-76-4536
高松町5-10	☎0797-77-3115
高松町5-10	☎0797-77-3245
高松町5-10	☎0797-76-4770
清荒神3丁目2-10	☎0797-84-1521
西宮市今津山中町3-23	☎0798-34-6221
西宮市今津山中町5-29	☎0798-37-1612
西宮市今津山中町5-29	☎0798-36-5520
大成町1-20	

高松診療所 駐車場完成です♪



旧高松診療所



114号線

ひだまり会館

市民の声を届けるため

自治体キャラバン

今年も宝塚市・西宮市と懇談し、地域の要望や実例を踏まえて私たちの要求を市当局に訴えてきました。

特に今回は、2017年4月から

「総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）」として新しい介護サービスに移行しますが、あと数ヶ月となり

疑問点や分かりにくい点があり、介護現場の職員が多数参加してのキャラバンとなりました。

宝塚市での特徴点

宝塚市を含む阪神北圏域では、高度急性期病床と回復期病床の不足が課題であることを指摘。

市からは「急性期病床から一部を高度急性期病床に変更するよう検討中。また、今年秋には救急センターの開設を予定している」との回答がありました。介護分野については、「ユースなどで話題となっている「サービスタワー」への立ち入り検査があるのかを質問。直接立ち入りはしていないものの、関係事業所には実地指導をした」という回答でした。

実施日：2017年1月19日

参加者：市職員：18人

医療生協職員・組合員10人 他団体3人 市議4人



西宮市



実施日：2017年1月13日

参加者：市職員17人

医療生協職員3人 組合員（宝塚・尼崎）13人

西宮市での特徴点

西宮市では、当局からの報告で、行方不明となった認知症の方の捜索に関し「認知症SOSメール」配信事業の開始の報告がありました。また4月から始まる総合事業に関し、生活支援専門員を何人くらい養成され、何人くらい活動されれば十分と思われるか質問。「120人養成し、うち80人が活動してくだされれば十分なサービスが提供できると考えている」との回答だったので、「それでは足りない」と思い

ます」と言う意見が出されました。市の回答の中で、注視していく必要を感じたのは、新事業について、まだ制度に追いついていない状態で、私達の意見が取り入れられるのか、どの方向に舵をきっていくのか、しっかりと見ていかないとけないと思いました。

キャラバンでは他にも、国保料の問題やワクチン接種・特定健康診査の改善等を訴えました。

「子ども食堂」の取り組みについては、宝塚市・西宮市とも漸次進めている様子を聞いています。西宮支部の「子ども食堂」は、西宮市3番目の開設のようです。医療生協として宝塚市内での取り組みも今後計画したいものです。

市との懇談で、私達の要求が具体化されているケースも多々あります。市民や現場の声を届けることができる貴重な機会でもあります。

私 も 組 合 員



利益のみ追求しないところが魅力

税理士 和田 敦さん(42歳)

加入：2003年10月22日

伊丹に事務所を構えている和田さんは、もう10年以上も宝塚医療生協の顧問税理士をされています。医療生協に出会った時の話や、趣味でされている剣道のことなど、お話ししていただきました。

■税理士になったきっかけは

知り合いに誘われて事務所に手伝いに行くようになったのが、はじまりです。大学時代は学校に通いながら、事務所で仕事もして、という生活でした。

■仕事をする上で苦労されることは

昔は「税金をごまかすために何とかして」といった無理を頼まれて、断れば「お前のところは融通きかない」なんて言われたこともありました。(今はそういった方はほとんどいませんが…)人と人との関わりが強い仕事なので、相手に理解してもらうように説明したり、対応を工夫したりといったことは特に気を配っています。

■依頼を受ける業種は？

建設業から小売業、飲食業、運送業などさまざまです。輸出や輸入がある所は、消費税の面で気をつけなければならない部分があったりしますが、ある程度慣れもあるので、「この業種は大変」ということはあまりないですね。

■宝塚医療生協の顧問になられた時のことを教えてください。

今からもう13年前の話になります。

「法人も大きくなってきたので税理士にお願いしよう」ということで、私のところへ来られました。当時はまだ、本部事務局が良元診療所の2階にあった頃で、事務スペースが狭く経理をする方は大変だったのではないかなと感じたのを覚えています。

医療生協の特徴といえば、やはり「利益のみ追求をしない」ということではないでしょうか。患者さん、組合員さんのことを第一に考えるという理念は他にはない魅力だと思います。その分、職員さんの苦労もたくさんあるかと思いますが…。

■趣味は？

剣道です。小学校からはじめて、社会人になった今でも続けています。子どもがいるのですが週2回、一緒に近所の道場に通う日々を送っています。参加しているメンバーはサラリーマンや公務員、ボートレーサーなどさまざまで、いろいろな方と話すことも、いい気分転換になっています。

(インタビュー 前田秀輔)

班活動 紹介

健康麻雀が人気を呼んでいます。

発足以来15年。今では初

北支部

健康麻雀

級・中級・上級の3つのコースができています。いずれも家庭的な健康麻雀です。麻雀は、ゲームごとに牌の並びが異なり、牌の交換には瞬

参道を通る方たちも興味津々

時の判断が求められる、頭の体操にもってこいのゲームです。

参道を通る方たちも、興味津々で、立ち寄り、入会された方もあります。初心者もベテランが懇切



丁寧に指南します。参加大歓迎です。興味のある方は「組合員センター」まで。(濱田正子)

組合員活動

東支部

皆が健康で楽しく
過ごせる1年に

1月21日 長尾ふれあいひろば

相馬支部長の挨拶で始まり、認知症予防ゲームの会「そよ風」のメンバー5人のリードで、歌に合わせて手遊びやゲーム。参加者は大きな声で歌い笑いゲームに興じる姿は認知症予防とは思えずまるで童の様でした。

頬を紅潮させ楽しんだひと時が過ぎおやつタイムです。心こめて作ったお餅のような白玉団子入りのぜんざいはお代わりする人も続出でした。

談笑の後は久々ぶりのビンゴゲーム



にエキサイ
ト！参加者
38人のうち
23人にビン
ゴ賞が当た
り、賞品が
出尽くした
ところでゲ
ームセッ
ト。

市と共に誰もが住みやすい町づくり「エイジフレンドリーシティ」を目指し、皆が健康で楽しく過ごせる一年でありますようにと願いつつお開きとなりました。
(馬目 容子)



高松支部

理事長も一緒に

踊りました♪

1月28日 高松会館

珍しく暖かさが戻ってきたころ、恒例の「新春のつどい」を開催しました。参加者は職員を含め57人が集いました。

協理理事長、韓所長の挨拶の後、地元自治会長さんから乾杯の音頭をいただきました。また、中川市長からも



メッセージが届きました。

今年も、恒例の沖縄舞踊を鑑賞。沖縄の民謡「カチャーシ」では参加者も大勢舞台上がって踊り、熱気に包まれました。

藤崎事務長から、「ひだまり会館」の各事業所をユーモアたっぷりに紹介、交歓ムードが一気に高まりました。

また、組合員さんからも、楽しい班活動の報告や、宇都宮支部長から、「新ひだまり会館」建設に向けた出資金運動で、高松支部が、今年度も建設目標を超過達成できたことを出席者に報告し、謝意を表し、最後に、笠本副支部長の閉会の挨拶で終了しました。

(宇都宮 勝)



良元ブロック

笑いと感動の渦の
新年会

1月15日 良元診療所2階



当日は70余人が参加。「良元新春のつどい」は、脇野理事長が「2017新春の決意」と題し講演。健康格差の解消を訴えるマイクロ・マーモット医師（世界医師会会長）の「健康の社会的要因」「医療機関の役割」などを説明しました。

講演後、新たに設置された良元ブロックの組合員センター「CoCoLo」が紹介されました。

昼食後、ボランティア活動をすすめておられる地域自治会の会長さんらが玄人はだしの「手品」「腹話術」を披

露。「わー！はたで見えていても分かれへん！」とおっしゃる女性。「あんなすごい声どこから出るんやろ？」と感心するお年寄り。また、昨年も参加いただいた岡澤さんの民謡も出され、笑いと感動の渦が参加者を包みしました。

(赤土 充男)



良元ブロックの組合員センター「CoCoLo」



北支部

新入組合員歓迎

新春のつどい

1月22日 売布会館

当日は、47人が参加。開会前の健康チェックコーナーでは、スタッフが足りなくなるほどの大盛況でした。

乾杯、歓談につづき、脇野理事長が「人々の健康と寿命の不等等」「富と健康の関係」など、興味深い内容で講演。兵庫食健連事務局長・柳澤尚氏は、「食の安全」について、輸入食品の薬剤汚染、遺伝子組み換え食品の人体に及ぼす影響など、具体例をあげて話され、驚きの連続でした。宝塚医療生協の説明と北支部の活動紹介もあり



西宮支部友情出演。左より花さん81歳・さがんセンターロー・花ちゃん18歳



り、極め付きは、西宮支部から「18歳花ちゃん」と81歳花さんが友情出演、お馴染み「さがんセンター」の掛け合いコン

ト、「道路を暴走するのが18歳、逆走するのが81歳」「心がもろいのが18歳、骨がもろいのが81歳」「恋に溺れるのが18歳、風呂で溺れるのが81歳」等々：会場は大爆笑！

中川智子宝塚市長からのメッセージも披露され、手作りご馳走に舌鼓、「楽しくて勉強になった」と笑顔がいっぱいの有意義なつどいになりました。

(濱田 正子)



昨年10月、清荒神参道に移転した組合員センターさがん

日々、行っているカンファレンス

「一人ひとりを大切に」

昨年12月、看護師対象に「健康権」の学習会を行いました。その際、「目の前で起こっていることの裏にある事実を知ろう」とする大切さを学びました。

普段、診療所や介護事業所のスタッフは、昼礼や、申し送りノートを活用し、必要な情報を共有しています。その中で、気になる方や援助が必要な方がいた場合、方向性を出すための話し合い（カンファレンス）を行います。

話し合いを進めるにあたり、よりその方のことを深く知る必要があります。生活状況や病気の状況を結びつけて、考える必要も出てきます。「な



ぜ、今の状況になったのか？」「なぜ病気が進んだのか？」「どうすれば改善するのか？」など。このように話し合いを進めていくことで、解決の糸口を探っていくことができます。

話し合いの方法は、病気についての学習会をしたり、ケアマネージャーに参加してもらい、医療と介護で連携をしながらケース検討をしたりとさまざまですが、新しくなったひだまり会館では、診療所と介護事業所が一緒になったことで、より話し合いがスムーズに出来るようになりました。

今後も、「なぜ？」と本質を追求してゆく心構えと、一人ひとりを大切に「少しでも良くなって欲しい」「安心して自宅で過ごして欲しい」という思いを元に、話し合いを進めていきたいと思っています。

（訪問看護ステーションひだまり

所長 山口あき）

医学生、医学部をめざしている人を紹介してください

兵庫民医連では、卒業後、民医連の医療活動に参加し、よりよい医療を進めたいと考える医学生のみなさんを対象に、奨学金制度を設けています。経済的に援助するだけでなく、病院・診療所など医療現場での実習や、全国の医学生との学習・交流など、様々な活動の機会を提供しています。

みなさんのご家族やお知り合いの中に、医学生や医学部をめざしている人はいらっしゃいませんか？ぜひご紹介ください。

奨学金の月額

1・2年生	50,000円
3・4年生	60,000円
5・6年生	70,000円

将来、兵庫民医連の
医師となる人を増やし、
育てる大運動を実施中！

奨学金制度については、ホームページでも詳しく案内しています。

兵庫民医連 奨学金 で検索。

〈ご紹介、お問い合わせ、奨学金資料のご請求は〉

兵庫民医連事務局 担当・荒川まで
電話番号 078-303-7351

メールアドレス igakusei@hyogo-min.com

*メールの場合には、医学生（または医学部をめざしている人）のお名前、学校名、学年、住所、電話番号、紹介して下さった方との関係、紹介して下さった方の連絡先を入力して下さい。

診察室 だより

29

アレルギー、花粉症について

良元診療所 小児科 戸田 久子



化する前に病院を受診し、症状が始まった経過や、家族にアレルギーの人がいるか、などの情報を伝える事が大事です。

治療は薬物療法と、アレルギー特異的免疫療法があります。薬物療法は、点眼、点鼻などの局所療法と、抗アレルギー薬の内服です。花粉症に対しては、花粉飛散開始と共に始める季節前投与法に効果が高いです。アレルギー特異的免疫療法は、スギ花粉に対する舌下免疫療法

くしゃみ、鼻水、鼻つまりは風邪の症状ですが、風邪以外もあり、一番多いのがアレルギー性鼻炎です。そして花粉症は花粉によるアレルギーの総称で、鼻炎が最も多く、結膜炎、皮膚炎などを示します。アレルギー性鼻炎の原因は、スギのような花粉以外でも発生し、ダニ、ハウスダスト、カビ、ネコ、イヌの毛などのタンパクで、「アレルギー」と呼びます。

アレルギー性鼻炎は、喘息やアトピー性皮膚炎を持つている方に多く発症しますが、鼻炎が最初のアレルギー症状になる事もあります。また、アレルギーの病気は遺伝する事も知られています。

鼻、目や皮膚に症状があれば、重症

で保険適応となりました。（現在、宝塚医療生協では実施していません）アレルギー症状を自身にあつた治療で生活上の支障をきたさないようコントロールする事が大事です。

良元診療所小児科（TEL.0797-71-7288）

小児科	月	火	水	木	金	土 小山 (第3週以外) 富田 (第3週)
9:00~ 12:00	戸田	富田	小山	戸田	富田	
4:00~ 6:00	小山 5:00~ 7:00	×	×	小山	小山 5:00~ 7:00	×

憲法の話 (17) 大切な日本国憲法を 守ろう

昨年「戦争法（安保法制）」が発動され、南スーダンPKO活動に派遣された自衛隊に「駆けつけ警護」の任務が新たに付与され、憲法が禁じる自衛隊の「武力の行使」の危険性が高まっています。

自衛隊は「殺すか、殺されるか」の危険な状況に身を置かねばならなくなります。日本の自衛隊が攻撃の対象になることは十分に考えられます。また今まで心配していなかったテロ被害も新たな脅威になる可能性があるかもしれません。

そして私たち医療従事者も有事の際には命令により徴用されてしまうことが自衛隊法103条で具体的に明記されています。もちろん土地や建物も管理されるので患者さんや利用者さんにも影響を及ぼします。

安倍首相は一昨年の戦争法の参議院強行採決後、多くの国民の理解が得られていないことを認めた上で、「国民にはこれからも丁寧に説明していく」と約束しましたが、まともな説明は、

はたしていません。強行採決の戦争法が憲法違反であるがゆえに論理破綻し、何の筋道を立てた説明もできなくなっています。日本国憲法は戦争がなければ平和だとは考えていません。

すべての人たちが、恐怖と欠乏から免れてこそ平和だというのが日本の憲法です。そして、日本国憲法の国民主権、基本的人権の尊重、恒久的平和主義という3本柱を今こそ大切に守っていく必要があると思っています。

憲法25条（生存権）憲法13条（幸福追求権）が活きる社会の実現を目指しましょう。

そして世界に誇れる憲法9条（平和主義）をもっともっと生かして世界の平和を築きましょう。（F・D）



虹のパレンティン行動



今年も実施！



2月4日はお天気にも恵まれ、6会場で実施。準備した3200セットをすべて配ることができました。と、同時に『国の責任でお金の心配がなくだれもが必要な医療・介護を受けられるように』の署名の協力をお願いしました。

各実施場所からの報告です。

阪急仁川駅前



参加者
鹿塩、仁川、さわか支部9名
職員8名 計17名
チョコ配布600個
署名74筆

- ・人通りはまあまあだったが、1時間実施して、チョコは30個残ってしまった。
- ・署名のお願いに快く協力してくれる人もいたが、中には署名を拒みチョコまで返す人がいた。
- ・寒いせいか手をポケットに入れたままでチョコを受け取ってくれない方も多かった。

阪急逆瀬川駅前



参加者
高松支部、元気支部5名
職員5名 計10名
チョコ配布600個 署名20筆

- ・例年より人通りが多かった。
- ・マイク宣伝では署名のお願いと宝塚医療生協の簡単な宣伝を行った。
- ・チョコ、カードは久しぶりにすべて受け取ってもらえ盛況だった。
- ・若い人より、年配の方々の関心をひく行動に感じた。
- ・宣伝に乳がん検診などの内容が入っていれば尚、良かったと思う。

阪急西宮北口駅アクタ回廊



参加者
西宮支部11名 職員2名 計13名
チョコ配布800個 署名28筆

- ・初めて午前中の行動だったが、人通りが少なかった。
- ・赤いエプロンと妖怪ウォッチの被り物で人目をひいた。
- ・50分でチョコの配布が終了。
- ・学生や子どもが握力測定に関心を示し、握力測定をした人の多くが署名に協力してくれた。

阪急宝塚駅噴水前



参加者
東支部、北支部5名
職員7名 計12名
チョコ配布600個 署名20筆

- ・天気も良く、人通りも多かったため30分ほどで配布終了。しかし、署名に協力してくれる人は少なかった。
- ・初めて参加した組合員もいたが、署名活動にも積極的に参加されていた。

阪急伊丹駅東側

参加者
伊丹支部6名 職員3名 計9名
チョコ配布300個

- ・例年のイズミヤ昆陽店より阪急伊丹駅に場所を変更、人通りが多かった。
- ・受け取ってもらう率も高かったように感じた。
- ・支部の方に職員の紹介が出来るいい機会となった。
- ・準備物が整っておらず、署名集めが出来なかった事が反省点。

JR三田駅前

参加者
三田支部7名 職員1名 計8名
チョコ配布300個

- ・ほとんどの歩行者でしたが40分で終了。のぼりやハンドマイクの必要を感じた。

2017年4月 「介護予防・日常生活支援 総合事業（以下、総合事業）」が 始まります!!



⑱ 要支援の方に対する
サービスが変わります!!

ケアサポート今津

亀崎 千恵美

その前に…
総合事業ってなに?

総合事業の目的は、「保険者である市町村が中心となって、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることをめざす」とされています。

サービス内容が大きく変更となるのは訪問介護（ホームヘルプサービス）と通所介護（デイサービス）の要支援1・2の提供される介護予防訪問介護と介護予防通所介護のみ。

その他の介護保険サービスは従来通りです。

（医療福祉生協連・虹のブックレットより）

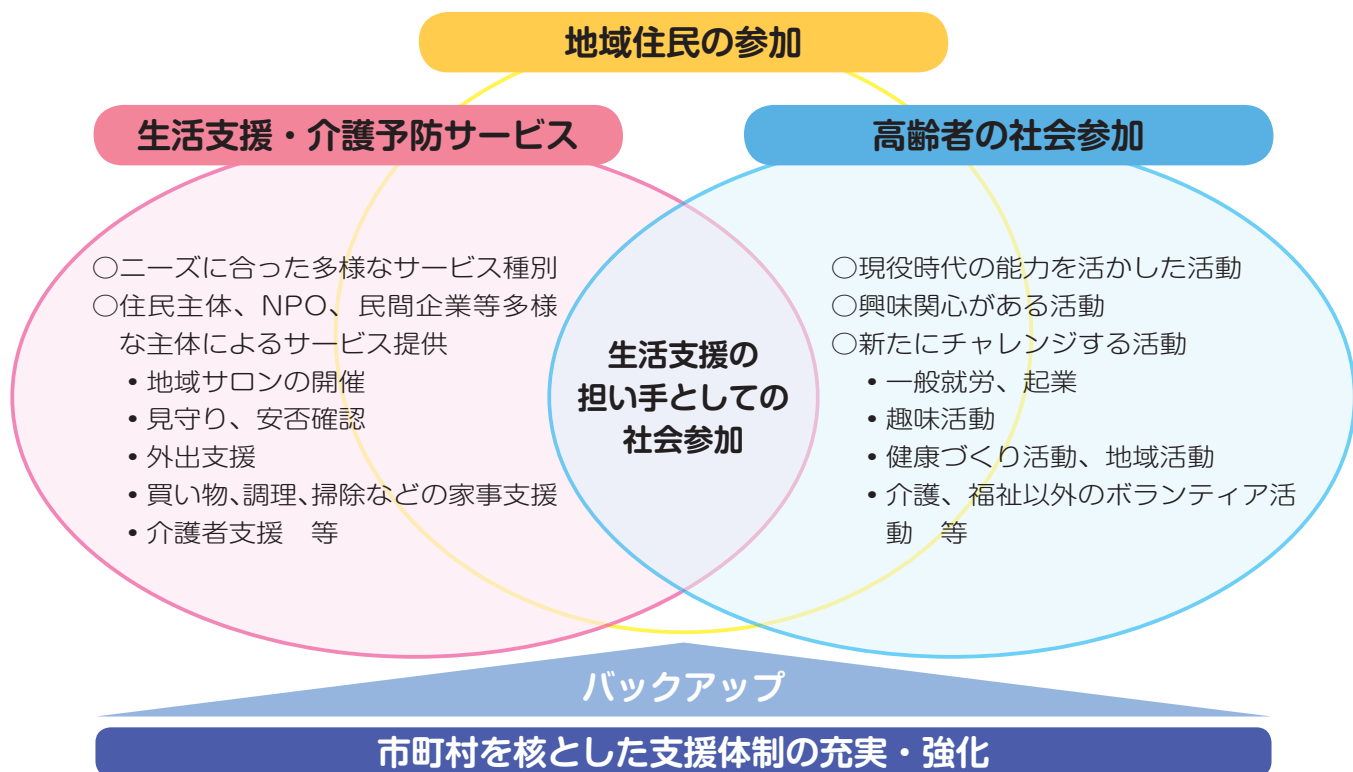
要支援の方の訪問介護 サービスが変わります

これまでのように有資格者でなくても、一定の研修を終了した人であれば家事専門の援助を実施することが出来るようになります。

ただ、十分な人員が養成され、そして活動されるかは不透明な状態で、不安が残ります。実施にあたっては市町村により細かい違いがあります。

例えば、2017年4月から総合事業に一齐に切り替えるところもあれば、2017年以降の介護認定更新に合わせ順次、変更されるところもあります。

詳しくはお住いの市役所または担当ケアマネジャーにお問い合わせてください。



読者の ひろば

▼薬食同源にいろいろ教えてもらうことが多くあります。最近油（脂）のとり過ぎでコレステロールが増加し、困っています。やっぱり避けるのが一番みたいですね。

（小林 檜山弘子）

▼正直今まで、あまり「たから」はちゃんと読めていなかったのですが、今回ちょっと時間のある時に、読ませて頂きました。

介護問題については、全国レベルで深刻化している中、さまざま取り組みをされておられ、高齢の親を持つ身としては、大変有り難いと感じました。

これから何卒よろしくお願い申し上げます。

（小林 大池 恵）

▼すしお運動についてが興

味深かったです。楽しく検討することでもいい経験になると思います。

（茨城県 小林克雄）

▼いつも楽しく拝見させて頂いております。薬食同源が好きです。

（逆瀬台 山本裕紀子）

▼妻が年末の最終日に肺炎球菌ワクチンを受けました。よかったです。

（湯本町 越智義行）

▼最近マナーを守らない人が多く、困っています。

それは、犬のフンの後始末をしない人の事です。

私自身が疑われると思い、散歩の時よその犬のフンを見つけたら、いっしょに帰るようになっています。

愛犬家の方々、よろしく頼みますよ。

（高司 平良 正）

▼先日、友達二人と三人で三婆で、文珍さんの落語独演会に行つて来ました。笑つ門には福来たるで、思いつきり笑つてきました。今年も頑張りたいです。

（鹿塩 朝日美実）

▼小杉先生の「お酒の飲み方振り返つてみませんか」の記事とても参考になりました。酒とがんとの関連よく解りました。酒好きの夫にも少し酒を飲むのを控えるように言います。

（湯本町 越智睦子）

▼年末年始、暖かいおだやかな日が続いて助かりました。今年もケツコーな年になりますように…

（レイちゃん）

▼薬食同源。知らない事も知り、勉強になります。

（高松町 大川まさ子）

▼いつもたから届くのが楽しみです。ひだまり会館に行つた時、看護師さんの行き届いた親切に感謝しました。

（亀井町 丸谷紀子）

▼インフルエンザのよぼつ注しやを、2回もうつたのにインフルエンザになりました。とてもしんどいです。はやくなおして学校に行きたいです。

（ひより）

▼百歳を越えた人をセンチナリアンというそうです。でき

るだけ元気で！長生きしたいですよね。寒いのでウォーキングにも行けず、気がつけば体力がガチ。ふーっと深呼吸して、ちよつとでもストレッチするようにしています。

（みかん）

▼昨年は、秋の長雨と青虫の異常発生で、家庭菜園の大根には受難の年でした。再度植え、収穫は遅くなりました。雪や霜にあたり、葉は食べられませんが、少し細めといえ、今は、瑞々しい実をおいしく食べられます。プリ大根、粕汁、おでんなど。

（北鈴山荘）

▼寒さが堪えます。布団から出るのもやっとの毎日ですが、風邪予防の手洗い・うがいしっかりして、がんばります。

（いちご）

▼ベルサイユのばらが最優秀作品賞に、とありましたが（すごい上手！）これは絵？押し絵？

（千種 南原由美子）



「宝塚医療生協本部事務局」移転及び 電話番号等変更のご案内

下記の住所に本部事務局を移転しました。
電話番号・FAX番号が変更となりました。

◇移転先 〒665-0041 宝塚市御所の前町15番21号
*新電話番号 0797-69-6121(代表)
*新FAX番号 0797-69-6223

法律相談

要予約

日時：4月3日（月）
14：00～16：00

担当：須川弁護士

場所：宝塚医療生協

本部事務局会議室

予約及び問い合わせ

宝塚医療生協本部事務局

（電話0797-69-6121）迄

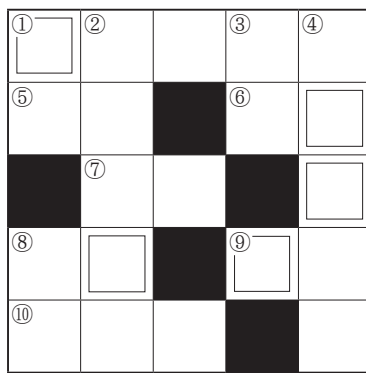
広報委員会からお願

投稿の際にはできる限り実名、もしくはペンネームを添えていただきますようお願いいたします。



医療生協 パズル

回の中のことばを組み合わせ、5文字のことばを作ってください。
 〈ヒント〉サイクリング



へたてのかぎ

①自分と他人

②まだらで毛のある丸い葉っぱにちなみ

漢名は虎耳草

③浦島太郎が助けた

④室内装飾

⑧糸〇〇 金切り〇〇など

へよこのかぎ

①見回ること

⑤那智・華厳・袋田といえ

⑥つどん・そば・素麺をまとめて〇〇類

⑦屋根の下端で建物の外壁から張り出し

た部分

⑧〇〇袋・〇〇紙・〇〇もち

⑨将棋で香車の俗称

⑩歌にある。猫は〇〇〇でまるくなる。

パズル解答についてお願い

ご意見等を必ずひとこと添えて、ハガキ、FAX、メールでお答え下さい。

〒665-0041 宝塚市御所の前町15-21 宝塚医療生協「パズル係」あて。

メ切は3月31日。正解者の方に抽選で図書カードを差し上げます。

応募されるとき必ず図書カード送付先のご住所、お名前を記載してください。お名前の掲載を希望されない場合は、ペンネームのご協力をお願いします。
 (広報委員会)



kouhou@takarazuka-mcoop.net

No.231の解答は

「エビステン」でした。

エ	ス	キ	コ	ウ	ヨ	カ	ブ	ラ	ク	ゴ
キ	コ	ウ	ヨ	カ	ブ	ラ	ク	ゴ		
ス	キ	コ	ウ	ヨ	カ	ブ	ラ	ク	ゴ	
エ	ス	キ	コ	ウ	ヨ	カ	ブ	ラ	ク	ゴ

☆正解者の中から抽選の結果、左記の方に図書カードを進呈します敬称略。
 ☆今回の抽選にもれた方も今後とも「読者の広場」や「もし・もし」の投書もあわせてお願いします。

「おめいじいじいおねい」

檜山弘子 石倉祐美
 大池恵 前島良弘
 越智義行 朝日美実
 せせらぎ

体によくない油脂

(2)トランス脂肪酸

米国の食品医薬品局は2015年にトランス脂肪酸を今後段階的に食用禁止にする方針を発表しています。

では、トランス脂肪酸とは、どういった油で、人体にどういった影響がある油なのでしょう。

そもそもトランス脂肪酸には工業由来と天然由来のものがあり、工業由来のものは液状油に水素を加えて固形に加工する過程で発生し、できた製品がマーガリンやショートニングです。天然由来のものは牛など反すう動物の胃で作られ、牛肉や乳製品などに僅かに入っています。

トランス脂肪酸が多く含まれているのは、マーガリンやショートニングを原料とするパンや菓子、ドーナツ、揚げ物などです。トランス脂肪酸を取り過ぎると心筋梗塞や狭心症などの冠動脈疾患が増え、妊婦や胎児に悪影響を与えると考えられます。

動脈硬化や高血圧、糖尿病などの学会7団体は、工業由来のトランス脂肪酸をゼロにするよ

た べ る も の が く す り 薬 食 同 源 (114)

食用油脂①

体によくない油脂 (その2)

久保 久次

う販売規制や表示義務を求めています。世界保健機関はトランス脂肪酸の一日の摂取量を総エネルギーの1%未満にするよう勧告しています。一日1900キロカロリーとすると2グラム未満です。日本人の平均摂取量は0.3〜0.6%と基準を下回りますが、若年層は多い傾向があります。日本では、15年4月から法律を一本化した食品表示法が施行され、エネルギー、炭水化物、たんぱく質、脂質、ナトリウム(塩分)の表示が義務化されましたが、トランス脂肪酸は任意表示に止まりました。国の食品安全委員会は日本人のトランス脂肪酸摂取量の少なさを理由に「健康への影響は小さい」と評価。使用規制をせず、事業者の自主性に任されています。

しかし、海外では、米国、カナダ、韓国、香港などで、トランス脂肪酸の表示を義務化。日本は立ち遅れています。

表示を開始すれば、使用削減の努力が始まると、食品表示の大切さを強調する向きも多いのです。



あったか庵の絵手紙班



淡路花栈敷の菜の花

元気支部 写真班 熊崎俊三郎



編集後記

☆今年4月からはじまる総合事業。制度が複雑な故に、介護現場からも疑問が残る中でのスタートということ、不安を感じずにはられない。

☆薬食同源はいつも「食」について、ためになることばかりです

が、今回は特にドキッとさせられました。よく考えれば私の好きな食べ物にはトランス脂肪酸が多く含まれるものばかり！これを期に少し制限してみようか。心の中で葛藤しています(汗)。(S)

今号のピックアップ

桃の節句

玄関を開けると、かわいい手作り人形がお出迎えてくださいます。それのお雛様バージョンがあるという噂を聞きつけ、お会いしてきました。

とてもやさしい顔のかわいいお内裏様とお雛様でした。お内裏様の横にあるペーパーフラワーも手作り、ブーケなども作っておられます。



北古賀さん作品

16年度活動のまとめと 17年度活動方針案

〈2016年度を振り返って〉

新良元診療所建設（1998年）以来の私たちの大きな「挑戦」であった「新ひだまり会館」建設事業が、2月の起工式に始まり、7月に「棟上げのつどい」を行い、そして、11月1日にオープンを迎えました。11月13日の「竣工記念式典＆祝賀会」は、300名以上の参加者で盛大に催しました。純増一億円の出資金目標を3月●日に達成し、宝塚医療生協の組織強化・質的拡大に大きな転換期となる年度となりました。

一方、医療介護を取り巻く環境では、「安倍政権の暴走政治は、いまや平和憲法も議会制民主主義のルールも守れないものとなり、国民との矛盾を強権でしか乗り越えられない状況」が顕著となりつつあります。

「各自自治体で介護保険事業計画策定の作業」が進められる中、医療介護総合確保推進法の具体化により、社会保障費、医療費の抑制と患者負担増の施策がさらに進められようとしています。診療報酬改定の引き下げによる医療事業への影響も深刻です。国からの地域包括ケアシステム指針のもと、都道府県の地域医療構想の具体化がはかられ、くらしの格差拡大がさらに、加速され、健康・疾病・障害による格差・不公正が国民にとって耐えがたいものとなりつつあります。

こうした状況を受け、昨年7月の参議院選挙では、戦争法廃止を求める議員を増やし、医療・介護の改善を進める絶好のチャンスとして、広く「選挙に行こう」という運動を呼びかけてきました。今年4月は、宝塚市長選挙があります。私たちのくらしに直結する選挙です。これまでの中川市政の「実績」、「市民が主人公の市政の変化、実感」を改めて市政学習会を通じて学び、医療・介護に従事する立場から社会保障政策を後退させない市政づくりを積極的に見守っていかねばなりません。

今後の鍵を握っているのは後継者の育成でもある「生協人づくり」政策です。事業拡大を担う幹部を実践的に育てることが急務となっています。

● 新ひだまり会館建設運動

- 出資金純増1億円を達成しました（17年3月）。
- 「デイサービス」「組合員送迎」「多目的ホール」の検討チーム答申をもとに具体化しました（17年1月）。
- 「中長期経営計画プロジェクト」を設定し、第一四半期、上半期総括会議を経て正確な長期の経営計画の指標を作成しました。
- 地域の訪問行動、患者・利用者（家族）との対話を行い、建設記念加入・増資の呼びかけ運動を実施。地域訪問行動（16年4月～17年3月）は、●●回●●件参加人数述べ●●人でした。
- 地域住民に選ばれる診療所・介護事業所づくり（複合施設）としてスタートしました（11月）。

● 医療分野のまとめ

【総合】

医療事業部として日本HPHネットワークに全国50番目の事業所として加盟（5月）。10月第1回カンファレンスで、「エイジフレンドリーシティ宝塚」と題したポスターで「優秀賞」を受賞しました。

【高松診療所】

医療・介護複合施設「ひだまり会館」が竣工、新高松診療所がスタート。両診療所と中井医院で連携型を形成し、在宅療養支援診療所・強化型・連携型を届け出ました。

【良元診療所】

がん発見も視野にした「アミノインデックスがんリスクスクリーニング検診」は、新たに膀胱臓が加わりました

(5月)。

「宝塚市胃がん等検診等検討会」開催(3月)。胃がんリスク検診は、組合員加入のきっかけとなっています。

副所長の退職により常勤医師1名体制となっています。在宅医療分野を重視し、皮膚科を含め60名以上の在宅医療を実施しています。4月以後で、緊急往診等23名・看取り46名(強化型要件を保持)でした。

4月から常勤看護師5名体制となり、1名が尼崎医療生協病院地域包括ケア病棟で研修(約3ヵ月)しました。

● 介護分野のまとめ

◎介護事業責任者や地域包括ケア推進担当者配置は、協議・検討中です。

◎「新ひだまり会館」竣工時(11月)に、ヘルパーステーション(ひだまり・さがん)を統合しました。

◎介護事業部学習会「ペップトーク」(8月)、法令遵守策としての適時点検(管理者中心)を行いました。

◎通所介護「ひだまり」は、当面、地域密着型として事業継続。「総合事業」への関わりは、継続協議中です。

◎「助け合い事業」プロジェクトで討議し、宝塚市の情報収集をすすめています。

● 組合員活動のまとめ

◎「face to face」の運動を継続、建設最終年度として、出資金純増目標1億円を達成。「新ひだまり会館」建設に大きく貢献しました。

1、結果(2017年1月30日現在)

- ①仲間増やし 574人/1,500人(目標)
- ②出資金増やし 64,931千円(総額)
62,384千円/8000万円(純増)
一人当たり約18,300円(2016.1)
→約22,800円(2017.1) 4,500円増加
- ③担い手増やし 15人(支部13名、事業所2名)
- ④班活動 1,114回(支部1,088回 事業所26回)

2、具体的な取り組み

- 1) 地域訪問行動…累計32回 新ひだまり会館建設の周知と地域の実態把握を行いました。
- 2) 生協強化月間 「まちづくり」 HPH推進課題すこしお(減塩)運動を推進しました。
- 3) 健康チャレンジ 83名/149名 「8つの健康週間と2つの健康指標」の学習会を開催しました。
- 4) 健康チェック&体力チェック…78回開催(～1/18) 昨年は52回実施しました。
・コープこうべとの協同の取り組みが拡大しました。

5) 支部

①虹のかかり組合員訪問…大口増資、継続増資、名義変更等に取り組みました。

②組合員センターさがんの移転、良元センターCoCoLoを新設しました。

6) 事業所

継続出資件数と増資口数が増加しました。

● 社保・平和・まちづくり・健康づくりのまとめ

「いのちの大切さを伝えていきます」

❖「憲法学習大運動」と「総がかり運動」への積極的な参加を呼びかけました。

❖「被災地支援活動」「被災地生協の健康まつり等への粗品進呈」等継続的に取り組みました。

❖原水禁世界大会への参加呼びかけ・平和行進への自主参加を含めた平和活動を推進しました。

❖県政・市政をよりよくする運動～自治体キャラバンの実施。社会保障を守る宣伝行動(年金天引き日行動)を行いました。

❖「8つの健康習慣と2つの健康指標」をベースに事前に学習会～健康チャレンジに取り組みました。コープこうべにパンフレットを500部依頼し、各店舗の店頭配置。149名参加(前年比微増)しました。

❖健康チャレンジは、西宮支部の班を中心にした取り組み、東支部の「すいらく」での取り組みやさわやか支部では意識して取り組まれ、昨年を上回る参加となりました。

❖宝塚市担当室長が日本HPPネットワーク全国集会にパネリスト参加・成功に寄与。宝塚市は、「エイジフレンドリーシティ宝塚行動計画」を策定、「シンボルマーク発表と記念講演」を開催(3月)。

❖宝塚市担当者と宝塚医療生協の「エイジフレンドリーシティ」宝塚行動計画に基づく定期懇談を継続しています。

● 経営分野のまとめ

○「事業キャッシュの流失を止める」を第一目的とした経営改善に着手。事業キャッシュフロー3,255千円。月商倍率2.18で、事業運営を推移しています(前年同期より13,762千円改善)。(16年12月)

○経理業務の改善策(CPUソフトの改定)と月次経営月報の改定を具体化しました。各事業所月次コメントが課題となっています。

○各事業所、事業収益の手立てと事業拡大が管理課題として挙げられます。

○全職員で担う経営管理（会計管理指標づくり）の推進のための研修及び人材育成が今後の課題です。

● 教育・人づくり分野のまとめ

- 「いのちの章典」などの民医連・医福連の理念学習を深めることができませんでした。
- 職員教育では、16年度新入職員教育を4月と11月に実施、職員制度教育は、次年度で検討します。
- 「憲法を身近にした」事例学習会を12月に開催。「労基法・労務管理」学習会を2月に開催しました。
- 医福連通信教育は、受講者81名の全員修了を目指し、結果、●●名が修了した。

● 職場づくりのまとめ

- 「健康で働きがいのある職場づくり」の視点で、個別

面談や業務を推進する上での「相談窓口」を設置（9月）してきました。

- 衛生委員会と共同して、職場の巡視（聞き取り）、労働法の学習等に取り組みました。
- 産業医の委託契約を行い、日常の労働環境の対応などにあたりました。

● 他

- 安全委員会の定期開催が課題となりました。民医連医福連の研修・学習会に、積極的に参加しました。
- 旧高松診療所（御所の前町）を改修し、本部事務局を移転しました（17年2月）。
- 大災害及び対応策の研修である民医連「MMAT研修」に参加。宝塚版「災害マニュアル」「訓練」を検討中です。



17年度方針づくりの重点課題(案)

スローガン(案)

「医療・介護、福祉事業の連携をより積極的に進め、
各・事業拡大を全組合員の力で推進しよう」(仮)

〈はじめに〉

17年度は、「2018年度医療・介護報酬同時改定」を前に、各自治体では、「第7期（18年～20年）介護保険事業計画の作業が本格化して行く時期」です。宝塚市及び周辺の自治体では、「当面現行の体系を継続」としています。私たちの事業展開では、「新ひだまり会館」の竣工以降、ますます「他職種協同・ネットワーク」への舵取りが求められています。そのための「構想の問題点や課題」を明らかにしながら、運動と対応を進めていかなければなりません。

社会環境は、「過酷な社会保障費削減と国民負担増により、一層の貧困と格差拡大、健康権侵害による国民的な被害の拡大が懸念」される様になっています。健康格差はその国の公正さの度合いを表す「指標」とされています。こうした環境を見据えながら、17年度は、「新・第二次中・長期事業経営構想」（仮称）に着手し、具体化していく年度となります。以下、各分野の方針（案）を提起します。

● 新ひだまり会館の重点課題

- ❖ コミュニティールーム（多目的室）の積極的な活用で、複合施設「ひだまり会館」の地域ニーズを高めていきます。
- ❖ 「総合事業」に対応した「介護予防・日常生活支援総合事業」の受け皿、体制を検討していきます。
- ❖ 「ひだまり会館」への送迎ルートを軌道に乗せ、組合員さんの利用頻度を高め、活性化を図ります。

● 医療分野の重点課題

【総合】

「貧困と格差、超高齢者社会に立ち向かう無差別平等の医療・介護の実践」と「安全、倫理、共同のいとなみを軸とした総合的な医療・介護の質の向上」を軸とし、宝塚圏域（在宅診療圏は、高松診療所は左岸南部・第4ブロック、良元診療所は右岸北部・第2ブロックを視野）での「ことわらない在宅医療の推進」を図っていき

ます。そのために、後継者対策、特に、医師・看護部門の具体化を諮ります。患者・利用者の負担増を考慮しながら、積極的な社会保障資源の活用を図ります。

減塩先進都市をめざしたとりくみを主要な外来・HPH課題として位置づけ、たから健診に「ソルトペーパー」の積極的な活用を検討します（特定健診等の項目に追加など）。

施設拡大を含めた検討を各圏域で、特に西宮圏域での事業検討を調査・研究します。

【高松診療所】

新ひだまり会館の中心事業を担うとともに、会館全体の管理運営や医療介護の連携の推進を果たしていく役割を担っています。後継者育成の早急な対応を進めます（医師・看護部門）。

【良元診療所】

事業所のリニューアル事業（補修・外来部門の導線改定など）の検討を開始します。「たから人間ドック」創設を視野にいれ、常勤医師の招聘を含め、医師体制の強化をはかります。

○ 介護分野の重点課題

組合員参加の地域包括ケア体制をすす め、総合事業への対応を具体化しよう

- ◎宝塚市や西宮市からの情報を共有し、法人事業拡充と組合員の運動を連携させ、住民本位の地域包括ケア体制をつくります。
- ◎「日常生活支援総合事業」への取り組みを具体化します（17年4月開始予定）。
- ◎事業ブロックを「高松圏域・良元圏域・西宮圏域」の3つに区分し、医療・介護連携を推し進め、各事業の拡充を図っていきます。
- ◎事業拡充の中で、育成の課題を明らかにしながら、人材の確保・後継者育成の計画作成を行っていきます。
- ◎「費用負担の軽減、介護報酬の引き上げ・改善、職員確保対策」など、制度の改善を求める運動を宝塚介護事業者協会へのアプローチもしながら、工夫、推進していきます。
- ◎「新しい総合事業」を見据えて、組合員参加型（ボランティア事業所訪問など）生協活動を軸としながら、積極的な組合員参加を促進していきます。
- ◎「経営改善とコンプライアンス（法令遵守）」の日常把握と点検を事業所ごとに進めていきます。

○ 組合員活動の重点課題

- 1、全国4課題では、以下の目標を設定します。
 - 1) 仲間増やし…1,000名以上
(全世代を対象とする取組みの工夫)
 - 2) 出資金…純増2,000万円以上
(中長期計画プロジェクト5か年計画より)
 - *進捗及び到達の状況をリアルタイムで報告し、組織全体で取り組む運動とします。
 - *継続出資組合員の拡大目標を2,000件とし、出資組合員の増加を図ります。
 - 3) 班作り…50班
 - 4) 虹のかかり…100名
- 2、3つのつくる運動
～支部活動の主体性の向上、活性化～
 - 1) 支部作り…住みやすいまちづくり、支部が行政や他団体との連携を積極的に推進できるよう工夫します。
 - 2) つながりマップ…一人暮らしや高齢者世帯の把握と見守り、助け合いに活用します。
 - ①近隣組合員の印の付いた地図を組合員に配布し、つながりを創ります。
 - 組合活動委員会、支部長会議、支部運営会議での議題とします。

②地域力強化検討会「我が事、丸ごと」政策の立案を検討します。

- 3) 発信基地としての居場所作り…こども食堂、たまり場、喫茶等。
- 3、実現に向けての手立て
 - 1) 組合員訪問の実施…地域の状況や要求の把握をします。
 - 2) 健康・体力チェックの開催200回
 - 機器の複数化を整えます。
 - ①支部で看護師確保（現在、西宮と三田のみ）をめざします。
 - ②参加要員の確保…コープこうべの体制変更
 - ③各種チェックできる組合員の養成。呼びかけ、興味ある人を探し、健康チェックサポーターとして登録します。
 - ④「たから」への健康チェック日程の折り込み（支部単位）で周知を図ります。
 - ⑤全支部で取り組み（鹿塩、さわやか末）を追求します。
- 3) 宣伝…医療生協に触れる、知る機会を増やす。
 - ①健康チャレンジ…通年実施 6、9、12、3月を目途に…別紙
 - ②すこしお運動…「まずは出汁を作ろう」、減塩運動の推進
 - ③各種健診
 - ④各種健康増進学習会開催等 歯周病、健康づくりーウォーキング、生活習慣病健康体操（筋トレ、ストレッチ等）
 - ⑤パンフレットやビラの更新…No.3「健康チェック」
 - ⑥何でも相談のコーディネーター役
- 4) 年間活動計画 支部との調整を諮っていきます。

○ 社保・平和・まちづくり・健康づくりの重点課題

- 「原発ゼロをめざす」運動と兵庫での「避難者検診」活動へ積極的に参加します。
- 「平和と格差・貧困の解消」を求める運動を「憲法25条一生存権保障」とリンクさせて推進していきます。
- 「こどもの貧困をなくす施策」を国や市に要望し、宝塚・西宮地域で具体的活動に参加していきます。
- 「社会保障の水準を上げる」運動を自治体との懇談（キャラバン）や実態を知らせる活動を通して、推進していきます。
- 社会保障削減を許さない社会状況が大切なことを肝に銘じ、職員・組合員の絆をつよめ、一致できる団体・個人との幅広い連携を進めます。
- 「健康づくり・まちづくり」を以下の目標を設定して

取り組みます。

1) 参加目標 500名

2) 取り組み

①宣伝 4月から／・組合員非組合員を問わない／・コープ等の他団体に呼びかける

②コース別に学習会を開催し、知見に基づき取り組み（歯、生活習慣、ウォーキング、食事）

③実施 通年

④集計 3ヵ月単位

⑤記念品渡し 3ヵ月単位

⑥年度まとめ 3月

3) 実行委員会形式の検討

①構成…組織担当職員、組合員で構成する。

②執行に向けて会議を定期的に開催する。

4) 「エイジフレンドリーシティ宝塚行動計画」や「健康の社会的要因」を自らのこととして学び、超高齢化社会に対応し、健康格差の軽減・健康の不平等の改善のための行動を企画します。「一支部・一事業所・一HPH」の取り組みをめざします。

● 経営の重点課題

○損益（PL）貸借（BS）財務・資金（CF）の3つの指標を明確にし、経営管理を推進していきます。

○月次経営月報の「見やすい資料」とする追求と各事業所コメントの定着をめざします。

○経理業務の更なる改善策と月次指標の報告を早め、ニュースなどでの広報・伝達を重視します。

○事業拡大が見込まれる中・長期指標の見直しを進めます。

○引き続き、全職員で担う経営管理（会計管理指標づく

り）が出来る研修及び人材育成を進めます。

● 教育・人づくりの重点課題

○民医連・医福連の理念学習を各部門の制度学習に含め、「宝塚医療生協のルーツを探る」研修を職員教育の中に取り入れます。特に、事務部門の制度教育を実施します。

○各分野・部門ごとの医福連・民医連で実施される研修、学習会等、積極的に活用・推進します。

○「憲法を身近にした」学習運動を軸としながら新入職員研修を進めていきます。

○医福連通信教育受講者を経年学習講座として、追求していきます。

● 職場づくりの重点課題

○「職場環境の改善」を日常的にすすめていきます。

○衛生委員と共同して、職場の巡視（聞き取り）、労働法の学習に取り組みます。

○日常的な産業医の活用を衛生委員会と共同して進めていきます。

● 他

○あらゆる分野で「安全」文化をさらに醸成します。

○法人機能（ライン）の確立、強化に努めます。

○環境を守る取り組みとして「緑のカーテン」、「大気調査」などをすすめます。

○大規模災害に備えて、防災（減災）マニュアル、危機管理マニュアルを作成し、防災訓練の実施をめざします。

第50回通常総代会

日時：2017年6月24日（土）13：00～16：30（予定）

場所：ソリオホール（宝塚駅下車、ソリオ1の3階） 総代定数：200人以上

予定議案

第1号議案 2016年度の取り組みのまとめと2017年度活動方針（案）の件

第2号議案 2016年度決算報告承認の件（2016年度監査報告）

第3号議案 2017年度予算（案）の件

第4号議案 役員選任（理事・監事）の件

第5号議案 役員報酬決定の件

第6号議案 退任役員慰労金支給の件

第7号議案 議案決議効力発生の件